

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山高島校		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ～ 令和8年 1月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ～ 令和7年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様にご満足いただける支援プログラムの提供	お子様お一人お一人のニーズに合わせたプログラムの作成	発達検査の結果などを活用してお子様の課題を客観的に分析し、より良い支援の提供を行っていく。
2	お子様や保護者様に親身に寄り添った支援や情報の提供	関係機関や他事業所等との積極的な連携	さらに関係機関連携を強めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携の薄さ	地域の方を対象とした活動が少ない	岡山市内の校舎と合同で行うイベントの実施、およびその周知をより積極的に行う。
2	各種マニュアルや防災訓練など、校舎内での取り組みに関する周知が不十分	教室内の掲示は行っているが、十分でなかったり、分かりにくかったりしている。	室内の掲示をより見やすくするように工夫する。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 20

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4	1	0		粗大運動など、活動内容によっては、支援ブースだけでは狭い場合もあります。共用スペースの活用など工夫しながら、引き続き支援を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	0	0	急な予約でも対応いただける背景にはスタッフの方の人数が充実していることがあと思っています。	可能な限り、ご利用者様お一人お一人に対し、どの指導員でも支援ができるように、指導員間の情報共有を積極的に行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	5	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	6	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	0	3	6		8月に行われた、岡山市内のきらりによる合同イベントでは、地域の方にも広くご参加を呼び掛けていきました。今後も、地域に開かれたイベントを行えるよう検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	0	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	0	5		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	1	2		ホームページで月2回程度、また定期的にInstagramにて活動内容の公開を行っています。 より周知する方法として、ホームページ（ブログ）の内容を教室内に掲示することを検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2	0	6		来所された方にとってより分かりやすい掲示ができるよう工夫していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1	0	0	毎回きらりに通うことを楽しみにしています。ありがとうございます。	今後も皆様に安心してご利用いただけるよう尽力いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	2	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	0		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」岡山高島校					公表日	2026 年 2 月 14 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		児発用のお椅子等、備品が充実しています。パーティションでの仕切りがある。	同時に4支援以上行う場合は支援スペースの確保や駐車場に留意する必要あり			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員の配置については、前もって計画を立てています。基本的には、子ども1人に対して職員が1人以上で対応できている。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		カラーテープで仕切りをしている。部屋をパーティションで区切ってわかりやすくしている。	1人ひとりに合わせてより構造化していけるとよい			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、掃除を行っています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションなどを移動させて環境を調整している。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業績面談を実施しています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		接触時間の確保が難しいお母様にも、連絡をとり、把握する機会を設けています。問題点は、職員全員で話し合い、改善に努めている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談を定期的に行っています。定期的にミーティングが行われている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		他地域の職員を招き、社内の監査を行っています。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修のスケジュールを把握できるように工夫されています。内部・外部の研修に参加している。毎月、様々な研修を受けている。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		定期的な見直しが行われています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		予定を立てて、計画的にアセスメントを実施しています。保護者から聞き取りを行っている。	発達検査の結果など活用してより客観的に分析をすることができるとよい			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		朝礼で情報共有しています。子どもの支援に関わる指導員と児発管でモニタリングを行っている。子どもの様子や成長、課題などについて、話す時間を設けている。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		朝礼で情報共有しています。計画に沿った支援プログラムを作成している。計画をみながら、プログラムを作成し、支援を行っている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		WISCやICFの指標を意識しながらアセスメントを実施しています。				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインは、常に確認できるようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		解決できない課題は、ZOOMで他校舎にも相談するようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個別、小集団をうまく使い分け、プログラムを立案しています。 活動プログラムが固定化して、子どもが飽きることがないように、内容は同じでも提示の仕方をかえたり、新しいものを取り入れたりして工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		毎月、定例での集団活動を実施しています。 個別支援に加え、小集団やイベントなどで集団支援も行っている。 月に1、2回児発小集団療育を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了後、振り返りの時間を確保しています。 朝礼時に共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録のぬけがないよう、徹底しています。 期限内に記録を作成している。 毎回、支援の内容と様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画的に実施しています。 全利用者を対象にモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		次の世代の育成もかねて、複数人で参画しています。 支援に関わり、理解した者が参画している。 基本的には、管理者や児発管、担当指導員の中から1、2名参加している。 児発管に限定せず、適任者が参加できている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		専門的な知識をもった職員も帯同するようにしています。 就学前に園の様子を見学しに連携に行っている。	より連携を深められるとよい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問につなげていけるような、質の高い関わりができています。 必要に応じて関係機関と連携を行っている。 園に見学に行き、先生と情報共有を行っている。	不十分だと思われる
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		学校訪問を行っています。 必要に応じて関係機関と連携を行っている。 子どもの特性や支援内容などについて書面にまとめて、母親から学校へ提出されることもある。	不十分
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

	31	(31は、事業所のみ回答)		○		センターとのさらなる連携は今後の課題です。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	外部とのイベントも積極的に行っています。地域の方が参加できるあそび博を開催した。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックの時間は確保するようにしています。毎支援後、保護者の方へフィードバックを行っている。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援で使用した支援具などは可能な範囲で提供しています。イベントの際に保護者の方にも参加していただき、ペアレント・トレーニングを行っている。	ハナミズキの会の講演会などは教室に掲示しているが不十分だと思う
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		説明の時間を確保しています。基本的には、管理者や児発管から説明を行っている。	あまり知らない保護者もいるため不十分ということだと思う。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画的に実施しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画的に実施しています。支援計画の説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		計画的に実施しています。必要に応じて事業所内相談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		計画的に実施しています。イベントの際に保護者会を実施したり、ごきょうだいにも参加していただき、交流する機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所内相談として実施しています。教室内で共有し、対応をできるよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ライン、ブログ、Instagramを活用しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ブログ等の写真の掲載ではダブルチェックを行っています。個人情報を書かれている物は鍵付きの棚で保管しています。	昔より意識が下がっていると思う。
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードを活用することがあります。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	町内会長さんと会話することがありました。	できていない。もう少し地域にひらかれた校舎にしていきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	定期的に実施しています。	家族への周知は全然できていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月防災訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様からの聞き取りを行っています。	担当以外はちゃんと把握できていないので、一覧表を作るなどした方がいいと思う。
非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	保護者様からの聞き取りを行っています。日常的に食べ物提供していない。	医師の指示書、全然把握できていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		インシデントレポートを活用し、情報を蓄積しています。	

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		計画的に情報共有をしています。	周知は不十分。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		インシデントレポートで情報共有しています。 報告書を作成し、共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修に参加できなかった職員へは、議事録で共有するようにしています。 虐待防止の研修も定期的に受けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		記載しています。	